

会社名	記載者	建物構造	①木造軸組 ②木質系 ③2×4 ④軽量鉄骨 ⑤コンクリート系						天 候	
現場名	棟取新築・増改築工事	検査員	足場構造	①アブリット一側足場 ②アブリット二側足場 ③布板一側足場 ④抱き足場						
場所				当日工事状況	外部:	内部:	当日の作業人員	大工 名	電工 名	給排水工 名

No.	チェック項目	良い	軽不備	悪い	
1	表示類	2	1	0	
2	第三者対策	1. 工事確認板の設置(建築確認済・労災成立票等)	2	1	0
		2. イメージシート(きれいな物を使用しているか)、安全標識類の設置	2	1	0
		3. 仮囲い、土留めの設置	2	1	0
		4. 防護ネットの設置(結束状態・破れの有無)	2	1	0
	5. U字溝等の養生状況	2	1	0	
3	安全通路	6. つまづき、すべり対策をしているか、又は障害物はないか	2	1	0
4	産廃	7. 分別収集出来ているか(空き缶・弁当がら等の混入はないか) マニフスト伝票の実行	2	1	0
5	仮設トイレ	8. 転倒防止処置をしているか。近隣に配慮をしているか。	2	1	0
6	仮設水道	9. 清掃がなされているか(トイレ・トーパー設置状況確認)	2	1	0
7	整理整頓	10. 設置状況(位置は良いか)	2	1	0
8	防火対策	11. 屋外の状況(資材の雨養生は良いか)	2	1	0
		12. 屋内の状況(資材・工具の整理)	2	1	0
9	服装	13. 消火器の設置	2	1	0
		14. 灰皿の設置(喫煙場所の確保)	2	1	0
10	電気・機械	15. 保護帽の着用(あごひも装着)保護めがね・防護マスクの使用	2	1	0
		16. 安全帯の着用(安全帯使用箇所)	2	1	0
		17. 作業に適した服装か(長袖・長スボンの着用)	2	1	0
		18. 機械工具の整理状況(コード類の整理、キックタイコブ破壊等)	2	1	0
11	開口部	19. 防護管設置。仮設電気のブーム設置。漏電ブレーカーの設置。	2	1	0
		20. 携帯用(又は定置型)丸鋸の安全装置	2	1	0
		21. 作業床の設置(吹き抜け等内部足場の設置)	2	1	0
		22. 水平ネット(防網)の設置、又は、仮設床の設置	2	1	0
12	脚立・梯子	23. 開口部の手摺(階段廻り、吹き抜け)	2	1	0
		24. 構造(丈夫な物・面を開き止め・路面がある物)※使用する際は保護帽着用	2	1	0
		25. 転位防止(上部緊結、滑り止め、突き出し60cm以上)	2	1	0
		26. 構造(材質、アルミ等丈夫な物)に問題はないか	2	1	0
14	屋根からの墜落防止	27. 軒上転び止めの設置(軒先と転び止め間は30cm以下)	2	1	0
		28. 軒上手摺(75～100cmで設け、かつ中棧を設けること)	2	1	0
15	倒壊防止	29. 火打ち(各面に対し、45度に近い角度で設け、コーナーより8m以上の場所へ設置)	2	1	0
		30. 筋交い(各面概ね45度の傾きで全層及び全スベにわたって設ける)	2	1	0
		31. 壁つなぎ・圧縮材・控え材の設置状況	2	1	0
16	沈下・滑動防止	32. ベース金具又は木製敷盤(24cm×24cm以上)に釘止めし使用。	2	1	0
		33. 根がらみ(出来る限り足場の建地の低い位置に設置すること)	2	1	0
17	作業床	34. 整地状況(先行配管の養生)	2	1	0
		35. 作業床幅と隙間 幅は40cm以上。隙間は3cm以下。 (路板は40cm以上を設置することが困難な場合は、24cm幅を使用することが出来る。)	2	1	0
36.	地上第一の布は、2m以下に設置する事。 (ただし4面が緊結された構造の足場については2.3m以内とする事が出来る。)	36. 地上第一の布は、2m以下に設置する事。	2	1	0
		37. 躯体との離れ 30cm以下とする。 (30cmを越える場合は、①前手摺を設ける。②メカを設ける。③安全帯を使用する。)	2	1	0
		38. 作業通路の確保は良いか	2	1	0

$$\text{得点二点数合計} \div \text{チェック項目数} \times 43$$

治

No.	チエツク項目	良い	悪い
18	禁止事項		
	39. 迷惑駐車をしていないか	4	-4
	40. 脚立を梯子としての使用禁止	6	-6
	41. うまの代用は使用禁止	6	-6
	42. 足場上、資材の仮置き禁止	4	-4
	43. 盛替えた部材の放置	4	-4

良い点(手本となる項目・改善・工夫等-図もしくは写真添付)		

[illegible][illegible]

採点方法

各項目	良い	悪い
各項目“良い” “軽不備” “悪い” の三段階で判定されます。それぞれ、2点・1点・0点となっております。(4点・6点・-4点・-6点)		
各項目について判定し、該当する点数に“O”印を付けて下さい。		
もし、項目内容が現場該当しない場合は、点数に横線を入れて下さい。		
全てチェックが終わりましたら、“O”印を付けた点数を合計して下さい。		
次に横線を入れた数を合計して下さい。チェック項目は全部で43ありますので、43から横線を入れた数を引いて下さい。		
それがチェック項目数になります。		
以上の数を左記公式に当てはめ点数を出して下さい。		